

京都府福知山市に生まれた日本画家・佐藤太清(1913~2003年)は、今年で生誕105年、没後15年をむかえます。太清の人生は母の胎内にいるうちに父を病で失い、生後間もなく母も亡くす孤独から始まりました。幼少より一人で野山を歩き、自然を描いた体験から絵の道を志します。後に花鳥画と風景画を融合した花鳥風景画を確立し1992年に文化勲章を受章しました。

本展覧会は、春の開催にちなみ、館蔵作品から植物をテーマにした作品に焦点を当てます。

1階展示室では日展出品画による作品変遷をたどります。戦後の日本画は、西洋絵画の表現手法を吸収し、重厚な絵肌による抽象的絵画が多数発表されました。《罌粟》により従来の画法を脱却した太清は、植物を抽象的に解釈する制作を開始。枯れ蓮を描いた《冬日》は、その先鋒に位置します。その後、《洪》では花を描きながらも光や空気に対する表現を追求し、制作はさらに進展。植物に対する視点から、表現の歴史を紐ときます。

2階展示室は、太清が毎朝のように行った写生や取材したスケッチブック、身近な光景を描いた作品を、庭、ととらえ、植物と作家の位相を考えます。当館が収蔵する3000点を超える作品関連資料から、この度初めて公開する素描も展示します。

一人の作家が花や樹木に向き合い、そこに何を見て、何を描いたのか。太清の描いた植物の形象をたどり、70年の画業を回顧します。



《冬日》 1962年 132x212cm



《蓮》 1977年 155x203cm



素描 睡蓮 昭和20年代末



素描 立葵 昭和30年代



《富貴花》 1985年頃 61x73cm

EVENTS

【ギャラリートーク】

4月28日(土)・29日(日)・5月19日(土)・20日(日)

午後2時~、1時間程度

会場：福知山市佐藤太清記念美術館

講師：安田 晴美 (美術史家、当館顧問、佐藤太清 孫)

参加無料(当日有効の入館券が必要です)

予約不要

【ワークショップ】「日本画で花を描く」

5月26日(土)

午前9時30分~12時、午後1時~3時

(一日で仕上げますが、午前のみ、午後のみ参加もできます。)

会場：福知山市佐藤太清記念美術館と丹波生活衣館

講師：衣川 充洋 さん(日本画家、佐藤太清門下生)

定員：10人 要予約

材料費：2000円 (当日有効の入館券が必要です)

【美術館コンサート】「チェロとチェンバロ、バロックの響き」

6月9日(土)

午後1時30分開場、2時開演

出演：上田康雄さん、西脇小百合さん

参加費：1500円(入館料含む) 要予約

ワークショップ
美術館コンサート
4月28日(土)より電話
0773-23-2316
にて予約受付します。

INFORMATION

開館時間 / 午前9時~午後5時(最終入館午後4時30分)

休館日 / 毎週火曜日

* 5月の連休の5月1日(火)は開館します。

入館料 / 大人210円・子ども100円

団体割引、障害者割引あり

展示期間 / 2018年 4月28日(土)~6月10日(日)

期間中一部展示替え

前期：4月28日(土)~5月14日(月)

後期：5月16日(水)~6月10日(日)



福知山市佐藤太清記念美術館

〒620-0035 京都府福知山市字岡ノ32-64

TEL/FAX 0773-23-2316

HP : <http://fukuchiyama-artmuseum.jp/>

e-mail : taisei.art.museum@city.fukuchiyama.lg.jp

J R 福知山駅より徒歩：福知山駅北口、徒歩15分

J R 福知山駅よりバス：京都交通バス 福知山城公園前下車

駐車場：福知山城公園観光駐車場(無料)